

[パークゴルフビュー・ロング企画]

# 全国PG旅打ち

第1回



百人浜パークゴルフ場



アポイ山麓  
パークゴルフ場



うらかわ優駿ビレッジ「AERU」  
パークゴルフコース



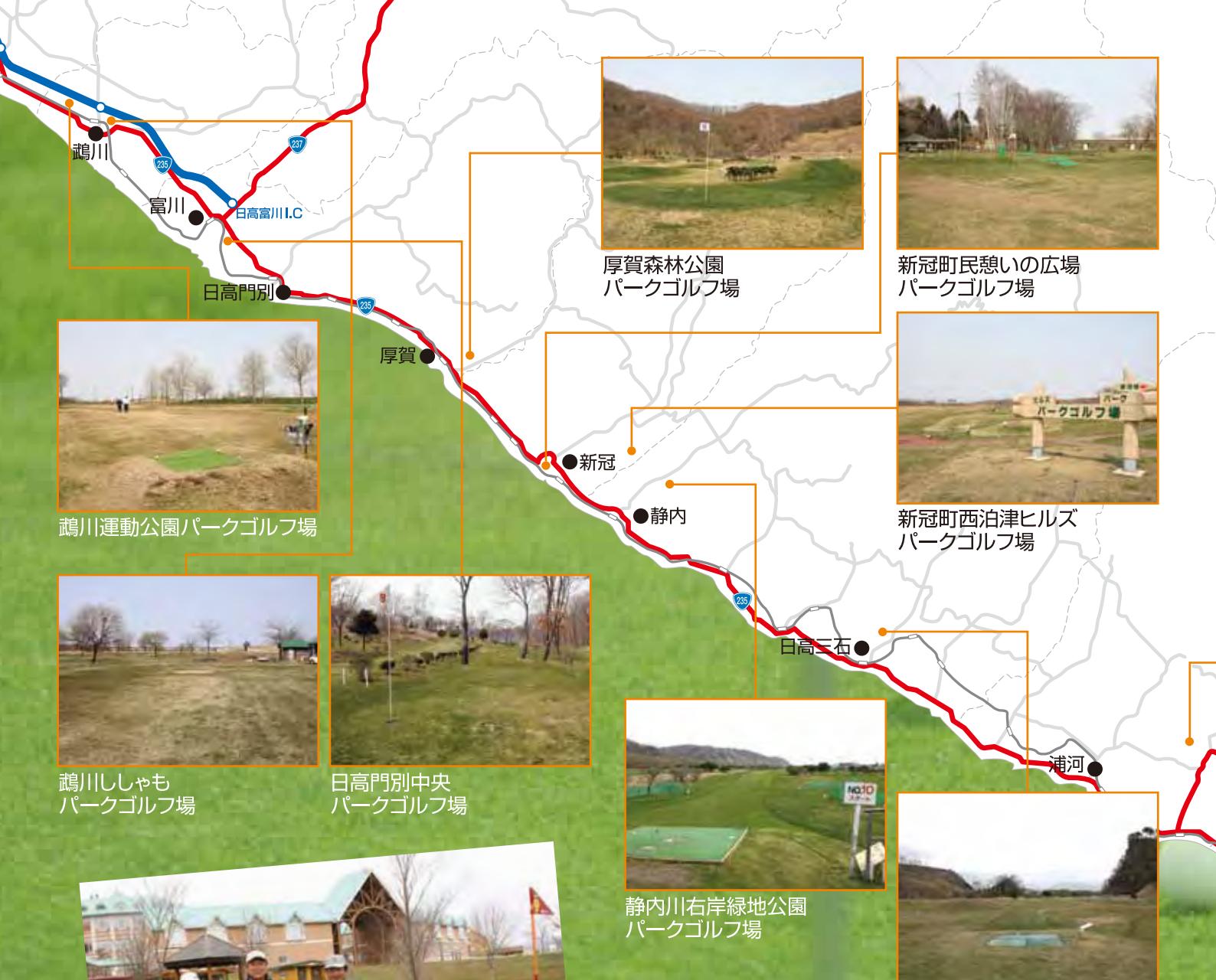
パークゴルフをしながら旅をする。気ままに気楽にコースを巡る。寄り道、回り道大いに結構。出会った人とパーク談義に花咲かせ、一緒にプレーを楽しむのもいいだろう。クラブ片手に「旅打ち」すれば、思いがけない「ふれあい」が待っている。

レポート／伝道師・カジワラ

スタートは「優駿浪漫ロードを行く」と題して、日高路への「旅打ち」に出かけた。私は「伝道師」梶原と丈さん（プロカメラマン、デザイナー）のおじさんコンビは、（丈さんの）愛車ベンツのjee-pに乗り込み、一路日高路を目指す。  
むかわ町から襟裳岬までの行程を2泊3日。地図にもガイドブックにも載っていない3コースを含め、14コースを訪ね歩いた。その道中、終始私たちを和ませ、感動させてくれたのは日高だけで1000はあると言われるサラブレッドの牧場風景だ。  
海岸線から内陸の道路に車を走らせると、両側がすべて牧場地帯といったところも多く、日高にしかない風景が圧倒的な広がりをもって続いていた。日高山脈を背景に、サラブレッドの美しい姿が印象的だ。桜の名所、古木も多く、次に訪ねるパークゴルフ場がどんなコースなのがと想いを巡らせながら、私たちはドライブをしつかり楽しんでいた。

# 一 日 高 路 — 優 駿 浪 漫 旅 打ち





## ふれあい

訪れた先々で地元の愛好者とのプレーを楽しんだ。会話も弾み、コースのことやパークだけではない、暮らしぶりやその土地のさまざまな表情まで見えてくる。それにしても皆さん上手いですねー



## 旅打ちの心

### 癒す

日常では味わえない感覚。自由に遊び、思いがけないものに出会う旅

## 食

外しちゃならないのが地場産物、旬のもの、美味しいもの(特に私なんぞは)



## 鵠川運動公園パークゴルフ場

オープンを直前に控え、管理スタッフが一生懸命整備を進めている。現在18ホール、992mだが夏以降には新コース18ホールのオープンが予定されている。敷地を存分に使いのびのびレイアウトされ、サンドバンカーとグラスバンカーを所々に配置。芝の密度が濃く、刈り分け方で難易度を調整しているようだ。グリーンも大きく、爽快感を味わえる雄大なコース。



## 鵠川ししゃもパークゴルフ場

河川敷コースであるが、大きなうねりと変化に富んだレイアウトが興味をそそる。「ししゃもカップ」の会場に使用され、テクニカルな面で愛好者の人気を呼んでいるよう

だ。スタッフにお話を伺ったが、残念ながら同町の運動公園にあるコースが18ホール新設により、こここの役目を今期で終了すること。36H1884m。



## 日高門別中央パークゴルフ場

もともと丘状の林間公園にコースを作り上げた非常に面白いレイアウト。打ち上げ、打ち下ろし、ドッグレッグなど、見事なほどバラエティーに富んでいる。グリーンは小ぶりで砲台状になっており、距離を合わせるのが難しい。メンテナンスも良く、完全な林間コースなので気持ちがいい。この日も苫小牧方面から大勢のプレイヤーが来ていた。温泉あり。18H1005m。



日高の海岸線は古くからの漁師町も多い。三石ブランドの「三石昆布」を筆頭に海の幸が豊富。海を眺めながら食事ができるムード満点のレストランに海の珍味が並んだ



# 食

# 旅打ち 優駿浪漫むかわ日高

PG



PG

**新冠** 日高でも指折りの馬産地。馬との関わりは江戸時代末期からすでに始まっていたほど。国道235号線から山間部に向かう約8キロの道程にはスター・ホースを生産した牧場が連なり、「サラブレッド銀座」の愛称で呼ばれ、オグリキャップ、マヤノトップガンなど、余生を送っている名馬たちの姿を見ることもできる。牧場体験、乗馬クラブなど、馬とふれあうにはもってこいのエリアだ。



日高山脈をバックに眼下には太平洋が広がる「パノラマ」コースとでも命名したい

### 新冠町西泊津ヒルズパークゴルフ場

丘の上にあるログハウス調ホテル「レ・コードの湯」を通り過ぎ、クラブハウスとスタートホールが林の少し奥にある。クラブハウス、コース案内などのサイン関係をはじめ、施設の充実ぶりは素晴らしい。カシワの林を生かしたAコースと、広々とした傾斜地のBコースからなる。趣の全く異なる2つのコースは誰もが楽しむことができるだろう。18H950m。



#### [レ・コードの湯]

パークゴルフ場とこの施設のセットは絶妙である。まるでパークゴルフ場のクラブハウスのように利用でき、食事に温泉、眺望とアフターパークが完璧。レジャー型でパークを楽しみたい方に最適。

### 新冠町民憩いの広場パークゴルフ場

河川敷に手作りで設置されたコース。フラットだがグリーンが小さめ。地元愛好者が楽しむためのコースとして、随所に工夫の跡が見られる。樹木が意外なほど多く、自然味を感じながらのプレーとなるだろう。18H845m。



ホテル正面は石蔵を  
思わせるかの  
ような重厚感



みついし昆布温泉  
**蔵三**

新ひだか町三石鳶舞162  
TEL.0146-34-2300  
<http://kurazou.ambix.biz>

新千歳空港より苫小牧東ICより日高道へ  
富川ICにて下り、235号線をえりも岬方面へ約2時間



温泉風呂への入り口部分も古き時代のアンティーク感が漂う



落ち着く色で統一され、フロント周辺  
も他のホテルとは一味違う



## 静内川右岸緑地公園 パークゴルフ場

白鳥コース18H、うぐいすコース18Hからなる堂々たるコースである。シーズン当初にもかかわらず芝の状態がかなり良かったのが印象的。ゆったりレイアウトされているが密度の濃いラフにつかまらないようにしたい。河川敷コースとしてはトップレベルの状態。うぐいすコースはティグランドを高く設置し、深めのバンカーや池を配置し、レイアウトも変化に富んでいてかなり戦略的。オープン直前でプレーはできなかったが、コースレベルの高さに驚いた。挑戦してみてはどうか。36H1990m



# 優駿浪漫 旅打ち PG 新ひだか

旅打ち2日目は生憎の天気。昼から雨だろうと言う事で、蓬莱山の伝説的な話もあると言うことだが、取材は急ピッチ。この日は地元の石原さんご夫妻にナビゲーター役を務めていただき出発。



## 蓬莱山公園 パークゴルフ場

河川敷のコースではあるが、フェアウエーにうねり、起伏をつけ戦略的に工夫されている。距離はあまり長くはないが、グリーンをオーバーするとOBが待ち構え、距離感が合わないとスコアがまとまらない。自然環境が良く、地元の愛好者が多く利用しているので、旅打ちではぜひ立ち寄りたい。18H827m



驚きをもってコースを歩いた。芝の状態、レイアウトともに素晴らしい。植栽もしっかりとされている。失礼ながら、この小さな村で誰が、どうして?と思っていると、その方達がやってきた。パークゴルフを愛するボランティアの方々でつくりあげ、この地域の人たちの社交場となっている事がわかった(TVのウルルン滞在記調になっている…)



かつては大勢の子供達が通っていた学校も現在は「柏陽館」となり、宿泊自然体験施設として再生。食事、入浴、宿泊を格安で提供。校舎、体育館、懐かしい時間が蘇って来そうです。

# 地図にない 場

### 上野深パークゴルフ場

浦河町上野深／TEL.01462-7-4457(上山)

浦河町の海岸線の国道から30~40分、全てが牧場と思わせるほど雄大な景色の中、車を走らせた。男性的な山々が連なる日高山脈が間近に迫り、そして本当にPG場があるんだろうか?と思い始めたころにようやく到着。

今回の旅打ちで地元の人しか知らない、ガイドブックなどにも載っていないコースにも巡り合えた。また「コース作りが楽しくてつくってしまった」など、それにストーリーがあるようです。これぞまさしく「寄り道のススメ」です。

# PG



実際にラウンドして面白かったおすすめコース「厚賀森林公园パークゴルフ場」で出会った旅打ち人。一人で気ままに長期間、北海道の各エリアを巡っているという。コースで情報を聞きながら、自分流の楽しみ方を実践している旅打ちの達人だ



日高のさまざまな情報とパークゴルフ場探しのナビゲーター役をしていただいた三石の石原ご夫妻

## ふれあいの旅打ち

旅打ちの魅力はゲームだけではない。愛好者とのふれあいはもちろんのこと、PG場を導入した人達、運営、経営に携わる方、PG周辺の環境や背景も知りたいといったことが今回のシリーズの目的になっていた。



夕暮れ時、牧舎に連れ帰る時にしっかりポーズをとっていただいた。凛々しいお姿です



優駿ビレッジ「AERU」にて、宮崎支配人、浦河町役場から水産商工観光課、山形課長他2名の参加をいただき、パークの役割と今後の観光への連携などをテーマに懇談会を開いた



浦河町上野深パークゴルフ場で出会った松橋さん。名馬「五冠馬シンザン」の生産者。このコースをつくり、守っている応援団のリーダー的存在

人すに「最近はいろいろなパークゴルフ場にも出かけプレーも楽しんでいます」と語る。えりも百人浜支配人「高橋さん」。



浦河町で牧場経営されている岡崎さんのお宅を訪問。浦河ラッコの会の会長として以前パークゴルフ場で面識があった。役員の皆さんも駆けつけてくれ「色々な地域との交流を進めてていきたい」など、パークの今後の役割も含め、たくさんの地域の情報をお話をいただいた



浦河町立郷土博物館「西幌別パークゴルフ場」

浦河町西幌別273-1 / TEL.01462-8-1342

国道を何気なく走っていて目にに入ったのがこのコース。フラットな9ホール。しかしながら「浦河町博物館」に隣接、旅打ちの礼として地元の歴史にもふれたいものだ



コースの看板には空き缶を利用。受け付け、入場料も全てセルフ。左下段のボックスがそれ



コース脇にこんな椅子も置かれていた



ちゃかっと広場パークゴルフコース  
浦河町月寒94-3 / TEL.01462-2-2919

これが正真正銘の「手づくりPG」と言えるコース。私有地に暇をみつけてはコース、休憩所、トイレ等の施設を整備し、十分楽しむことができるコースとして完成している。芝の状態も良い。9ホール。敬意を表しに寄ってみてはいかがだろうか。

# 旅打ち

## 優駿浪漫浦河 PG

2日目の宿泊は浦河町。その中でも代表施設の優駿ビレッジ「AERU」に宿泊。支配人や役場の皆さんからも沢山の情報をいただいた。同町は日高地方の行政、経済、文化の中心地として歴史ある町。の中でも軽種馬生産は基幹産業になっていて、現在4000頭以上のサラブレッドが300の牧場で駆け回っているという。町では馬生産ばかりではなく、馬を広く活用した町づくりを目指し、「馬のあたたかさや、やさしさにふれるまち」を提唱している。



うらかわ優駿ビレッジ「AERU」  
町が目指す構想の一環で誕生した施設。宿泊棟、レストラン、会議室、展望浴場等のホテル部門。曳き馬から本格的ホーストレッキングまでの多彩な乗馬メニューとファミリーで遊ぶ事ができる遊具体験ゾーン。それに当然、パークゴルフもしっかりと整備されておりました。



3日目のスタートはここでしっかりラウンドしようということに。浦河町の折上さんご夫妻も参加で18Hを楽しんだ。素晴らしい環境の中、「あと1週間もすれば桜が咲くんだろうな」と少し悔しく思う。ビレッジの入り口の桜並木、コースのいたるところにある桜の木の立派さが気になった。18H 875m。誰もが楽しめる「自然環境派パーク」と言ったところか。



施設内は明るく、フロント周辺からも名馬の産地であることを確認できるだろう 牧場にいる感覚にさせてくれるので、ゆったりと癒されることは間違いない



ヨーロッパの古城のような趣。  
外観だけではなく、施設内、  
客室全てに馬産地としての  
誇りと文化を感じさせる建  
物である。

## 旅の癒し宿

AERU

浦河郡浦河町西舎141番40  
TEL.0146-28-2111  
<http://www.lilac.co.jp/aeru/>

車で札幌から約3時間、JR日高幌別駅から5分



# 様似

様似町に入る。牧場が続いた浦河の風景と違って海岸線が入り組み、奇岩も多く、ドライブを楽しんでいるうちに、次の目的地「アポイ山麓パークゴルフ場」に到着。海岸線から少し入った高台の傾斜地に27Hのグリーンが目に入ってきた。同時にコース越しに太平洋の広がりとアポイ岳の山容が視界に入る。日高路ナンバーワンのロケーションを誇るコースだ。



## アポイ山麓 パークゴルフ場

様似町には知り合いの愛好者も多いのだが、今回静かにプレーをすることに。ログハウス調の立派なクラブハウスで挨拶を済ませ、いざコースへ。太平洋を眼下に眺めながら豪快なプレーを堪能する…はずだった。事情が変わった。上り、下りに加え、幾つものマウンド、グリーンの形状も変化に富み、静かな平常心の私ではいられなくなった。距離が合わない。パットが入らない。ショットも乱れてきた。そんなこんなでプレー終了。ロケーションの感動とは裏腹に再戦を心に誓い、そそくさと次の目的地へ。27H1480m。食事や温泉入浴、宿泊は隣接する「アポイ山荘」で。



# えりも

日高路の最終地点と言うか、今回の最終目的地でもある。有名な「襟裳岬」があり、日高山脈もえりも町を最終地点として連なっているのが良く見える。独特の突端の風景があった。岬観光で知られてはいるが、漁業も盛んな町である。

## 百人浜パークゴルフ場

今回楽しみにしていた「百人浜パークゴルフ場」。数年前に訪問したとき、そのコースの素晴らしさに本当に驚いたものだ。巧みなレイアウト、芝の密度や刈り分け方、戦略性も含めた楽しさ、施設の充実度にロケーション。文句なしのAクラス。「旅打ちシリーズ第一回」の打ち納めにふさわしく、春のこの時期で絨毯のような素晴らしいフェアウェーと刈り分けで難易度とデザイン性を見事に表現している美しいコース。満足した気分でラストラウンドを終えた。



# 旅の帰り路



2泊3日の「日高路優駿浪漫」と銘打った「旅打ち」を終えました。実に個性豊かで魅力に溢れたPG場が連なる日高路。あらためてパークのおかげで、北海道の魅力を感じることができたように思います。自己流ではありますが、皆さんの「旅打ち」の参考になれば幸いです。帰路に着いて、新冠町付近で見た夕日です。行動すると思いがけないものに出会いますね。



おすすめコースも色々ありましたが、海の幸、山の幸、そして我々飲み盛りの強い味方・珍味とも出会ってしまいました。結構癒されます…

# 食



まるで夕食のような朝食。レストランからの景色も素晴らしく、ゆっくりとたっぷりと。



眺望に優れた大浴場。  
景色を見ながらリラックス

# 湯



日高路は桜の名所が多い。静内の「二十間道路の桜並木」と浦河町の「AERU」への導入路ともなる「優駿さくらロード」が有名